

■ 8心単心低摩擦インドア光ケーブルと E モジュール類

2012 年（平成 24 年）

これまで小～中規模集合住宅の縦系配管内には、お客様の需要ごとに細径インドアケーブルを布設するためケーブル数が多くなり、配管の有効利用が困難でした。

これに対して後分岐可能な「8心単心低摩擦インドア光ケーブル」をお客様の需要に応じて布設し、該当フロアで後分岐した素線光ファイバと接続点を省スペースで保護する「E モジュール類」の開発により柔軟な対応を可能にしました。

・ 8心単心低摩擦インドア光ケーブル（8ST インドア）（表 1）

細径インドア 2 条分程度のスペースに、1 条で高密度（8 心）な配線を可能とし、ニッパ等の汎用工具を用いて後分岐が可能な 8 心単心低摩擦インドア光ケーブルを開発しました。

表 1 現行品と開発品ケーブル（8ST インドア）の比較

	現行品（多心インドア）	開発品（8ST インドア）
物品イメージ		
サイズ	1	1
低摩擦性	1	5 分の 1 （細径低摩擦インドアと同等）
押込み工法	×	○
後分岐	×	○

・ E モジュール類（表 2）

モジュール内での素線収納作業を回避するための「ストレート収納」を実現するため、あらかじめメカニカルスプライスの片端に SC コネクタ付コードを装着した「構内用簡易接続ピグテイル」を開発しました。

表 2 現行品と開発品 E モジュールの比較

	現行品	開発品（E モジュール類）		
設置箇所	屋内・屋外	屋 内		屋 外
設置面積比	1	2 分の 1		1
設置方法	先行設置	後設置	先行設置	先行設置
ケーブル切裂き長	1	約 10 分の 1		
収納作業	モジュール内での素線収納作業	ストレート収納による素線収納作業回避		
		 E4 心モジュールD	 E8 心モジュールT	 E多心収納トレイ（組）

この余長を接続余長のみに限定し、接続必要長を短くすることでケーブル外被切裂き長を約 90%削減することが可能になりました。さらに、これらを用いて、屋外等外壁へ設置可能な「E 多心収納トレイ（組）」も併せて開発しました。